

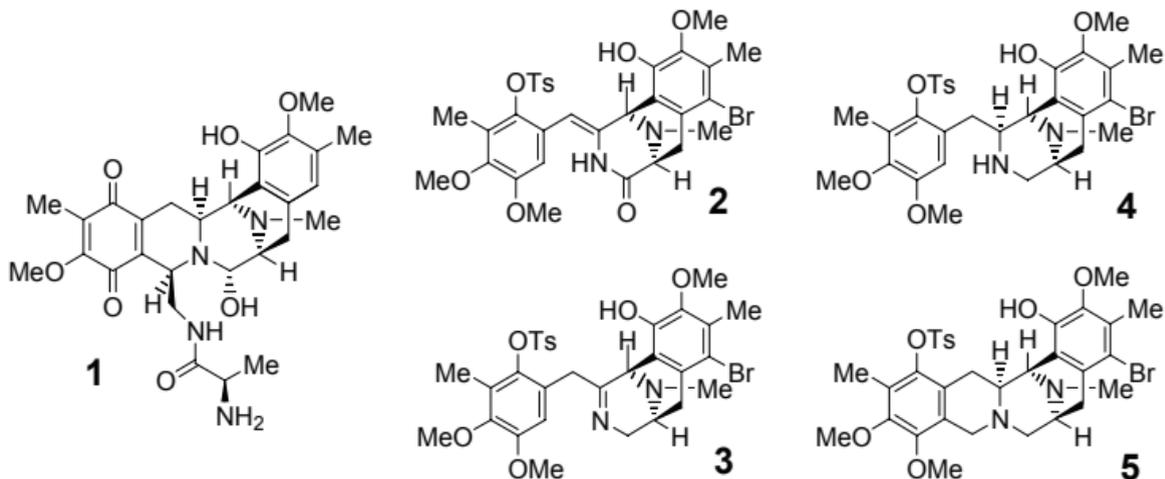
30P1-am322

抗腫瘍抗生物質サフラシンBの全合成研究 (3)

齊藤 直樹¹, ○前 勇太郎¹, 吉田 潤平¹, 久保 陽徳¹(¹明治薬大)

【目的】新規抗腫瘍活性海洋天然物であるエクチナサイジン 743 の供給源として注目されているサフラシン B (1)の全合成経路の開発に際し、基本骨格 5 の合成を展開する。

【実験・結果】大量合成可能なラクタム中間体 2 を AlH_3 を用いて還元すると、イミン体 3 とアミン体 4 が生成した。そこで、 NaBH_4 によりイミン体 3 を再度還元するとアミン体 4 に変換することができた。次に 4 の Pictet-Spengler 反応による基本骨格 5 への変換について検討した。



参考文献

1) 齊藤ら, 日本薬学会第 125 年会 (東京) 講演要旨 4 p 34.